



⑤	④	③	②	①
ア	こ	ウ	イ	①
×	れ			返
イ				②
×	に			矢
ウ	は			
×				
エ	あ			
○				

〔解説〕

(1) ① 「我に返る」とは、「他のことに気を取られていたものが、本心に返る」という意味。「帰る」としない。

(2) 「光陰矢のごとし」という言葉がある。時間が早く過ぎることを矢に例える。

(3) 反語表現であることを押さえる。「私だけであろうか。(いや、そうではない)」となる。

(4) 「あたかもよような」という表現に注目する。

(5) ア 「名残惜しく思った」とは書かれていない。

イ 「私」の中の「時間の感覚の変化」しか述べられていない。  
ウ 「心地良い気分」が誤り。